

1 年頭のあいさつ

リハ科「制作」

2 東大和フェスタ

制作展

3 クリスマス会

4 テーマ別改善運動院内発表会

クリスマス・お正月の行事食

人事異動



令和6年 年頭挨拶



ご利用者・ご家族の皆様、職員の皆様

院長 柳瀬 治

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新しい年を清々しいお気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

長らく続いたコロナ禍によりさまざまな制約がありましたが、昨年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更され、全国各地で、以前の賑わいや活気が戻ってまいりました。当センターにおきましても、4年ぶりにご利用者にご家族の皆様と一緒にクリスマス会を楽しんでいただくことができました。

ご利用者・ご家族の皆様ならびに職員皆様お一人おひとりのひとかたならぬご協力とご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

しかし、このように光溢れる中で迎えた元旦に、大きな地震が能登半島を襲いました。地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様ならびにそのご家族の皆様にご心からお見舞い申し上げます。現在も余震が続き、報道によれば救援活動は困難を極めています。被災された皆様の安全と生活が一日も早く平穏に復することを願ってやみません。

改めて申し上げますが、当センターの使命は、安全で安心できる質の高い療育を提供し、長期入所者の皆様のいきいきとした潤いのある生活と生命を守ること、同時に在宅で過ごされている障害児者の方々を全力で支援していくことの二点です。皆様と力を合わせてこの使命を達成してまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、令和6年が皆様にとりまして温かく実り多き年になることを願いまして、新年の挨拶とさせていただきます。

リハビリテーション科の「サラダ・トマトグループ」の皆さんのちぎり絵作品です。
今年良い年になりますように！





東大和フェスタ&制作展



「笑顔満祭!!東大和フェスタ」

生活支援科 第2病棟 指導員 主任 松永正人

今年度は、テーマを「笑顔満祭!!東大和フェスタ」と銘打ち、2023年10月7日(土)に開催しました。昨年度は、感染対策のため、他病棟の利用者同士や職員が接触しないように時間毎病棟毎にアトラクションを回るスタイルでしたが、今年度は制限なく自由に行き来できるようになりました。

職員手作りのアトラクションブースを屋内に4か所設けました。①ハンマーを握って、ワニをやっつけたり、ボールを飛ばして的中に入れるゲームに挑戦する「きんに君の100点満点ゲームハンマー」②西武園の「昭和の熱気あふれる世界、夕日の丘商店街」をオマージュし、数々の昭和の装飾やBGM、巨大なゴジラの頭部像と写真を撮れる「昭和レトロ写真館」③工作部屋でオリジナルの紙飛行機を作って、各国言語のアナウンスや光を感じる管制塔エリアを抜けて、滑走路で自作した紙飛行機を飛ばす「舞い上がれ、オリジナルな紙飛行機を飛ばそう!」④コーヒーの香りとお揃いのおしゃれ店員がおもてなしするカフェコーナー「ようこそGRAVITY CAFE・へ!」の4つを楽しみました。



各病棟を回るボランティアは2組。ひと組は、あの「でんじろう先生」のお弟子さん、「チャーリー西村」さんによるサイエンスショー。お馴染みの空気砲や静電気を使った不思議な現象などを楽しく見せてくれました。もうひと組は、国立音楽大学の音楽サークル「ピーターパン」の皆さんによる音楽会。リクエストに応えながら、ジブリや流行の曲、懐かしい曲などを聴かせてくれました。

アトラクションや病棟でのショーを楽しんで見られた笑顔はもちろんのこと、久しぶりに利用者同士や職員と顔を合わせ、笑顔で言葉を交わし合う嬉しそうな表情がとても印象的なフェスタとなりました。

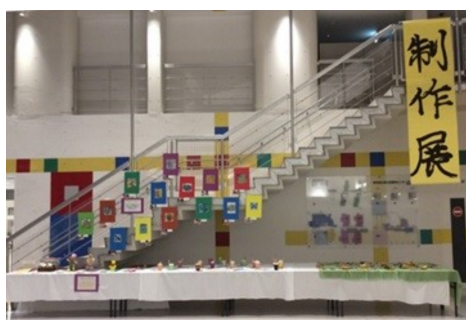
「制作展2023」

リハビリテーション科 作業療法士 主任 田中豊明

センターの秋を彩る「制作展」を10月6日(金)～11月17日(金)まで開催しました。今年は絵本「ぐりとぐら」の4つのシーンをアレンジしたり、リハ科で行っているグループごとにテーマを決め、「瓶人形」「はじき絵」、紙粘土で作った「フラッペ」や「うどん」、石にカラフルな色付けをした「ストーンアート」などを展示しました。どの作品も個性豊かでいつまでも見ていたい、そんな作品ばかりでした。

新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、外来利用者や長期利用者のご家族、その関係者の方にも直接作品を楽しんでいただける機会が増えました。制作展を観覧して下さった方からは「見ていて楽しかった。」「利用者さんの個性や思いが伝わってきた。」など沢山の感想をいただきました。

来年も皆さんに制作展を楽しんでいただくとともに、作品を通じてご利用者お一人お一人の息吹をお届けできたらと思います。





クリスマス会



生活支援科 第3病棟 指導員 安部弓子

「みんなで楽しいジャンボリークリスマス」

第3病棟のクリスマス会は12月21日(木)にプレイルームにて行われました。今回のテーマはディズニーでお馴染みの『ジャンボリー』としました。ジャンボリーには～～楽しい集まり、みんなで愉快地に過ごす～～の意味があると言われています。5年ぶりにご家族の方々にもご参加いただき、このひと時を互いに笑い合い、顔を見合わせ楽しく過ごしていただきたと願っていました。

まずは、活動で制作したクリスマスツリーに、個々の写真を使用したオーナメントキーホルダーを飾り付けながら入場して、ご家族の待つテーブルへと進みました。新しいご利用者と職員のフレッシュコンビでの点灯式、西條先生から日頃の様子をお話いただき、今回のメインであった国立音大の学生の演奏会です。トナカイに扮した姿で元気よくたくさん声掛けと共に演奏が進み、ご利用者も自作のマラカスを振りながらクリスマスメドレーを全身で楽しむ様子が見られました。お楽しみのデザートでは、コーヒーの香りを楽しみながら、大人気のコーヒー牛乳とチョコムースを戴きました。軽食中、ご家族にお話をお伺いしましたが、久しぶりの再会で多くの笑顔を見ることができました。最後は、サンタさんとトナカイさんがプレゼントを届けてくれて、あっという間に時間が過ぎてしまいました。



会場内には、近年の振り返りをしていただけるよう写真を多く展示して、会終了時にはご家族へお渡しすることができました。

コロナで会えない期間を過ごしてきましたが、こうやってまた、みなさんと楽しい時間を持つことができて良かったです。

「楽しいクリスマスウィーク」

生活支援科 通所係 保育士 鈴木あずさ

12月18日(月)～22日(金)は通所のクリスマスウィークでした。

内容は、昨年5月から始まった制作、音楽、ゲーム、感覚の4つのグループ活動の発表の場となりました。月曜日は制作グループが作った写真撮影用のパネルとフレームのお披露目をしました。火曜日は赤いマントに可愛い飾りで衣装を揃えた音楽グループによるトーンチャイムの演奏でした。木曜日はゲームグループのツリーでカーリングを2チーム対抗で行ない、クリスマスツリー柄に飾られたお菓子やサンタ、トナカイの的(ま)にポイントがついていて点数を競い合いました。金曜日は感覚グループによるジャズセッションを題材にしたお話会をしました。ピアノ、ウッドベース、ドラム、サクソに見立てた音を奏でいただき、その演奏のお礼として職員がマツケンサンバを踊りました。クリスマスの製作はカードを作りました。制作グループが作った写真撮影用のパネルとフレームで2パターンの写真を撮り、写真を貼って持ち帰りました。

10月からグループごとに内容を相談して決めて、制作に取り組み、本番に向けて練習を重ね、楽しみながらみんなで作り上げました。期待される方、音楽で笑顔になる方、ゲームでチームワークを発揮する方、主役で張り切る方、反対に緊張してしまう方等様々な反応を見せていただき楽しい一週間となりました。





テーマ別改善運動院内発表会



事務部 事務次長 近藤匠

令和5年12月15日(金)14時30分より、令和5年度テーマ別改善運動院内発表会が開催されました。発表は、テーマ名「療育施設でのCOVID-19 感染防止対策～私たちは心をひとつに知恵を絞って立ち向かった～」(サークル名はコロナバスター ALL FOR ALL)、テーマ名「スヌーズレンルームへ行こう!」(サークル名はスヌーズレンルーム推進委員会)及びテーマ名「輸血環境ととのえました」(サークル名ははたらく輸血)の順で、それぞれ約15分ずつ行われ、院内審査委員による審査の結果、COVID-19WGが最優秀賞、スヌーズレンルーム推進委員会が優秀賞、はたらく輸血が努力賞を獲得しました。審査委員やサークルメンバーを含む21名がこの院内発表会に参加し、各サークルの発表に興味深く聞き入っていました。令和6年1月17日には、東京都社会福祉保健医療研修センター(〒112-0006文京区小日向四丁目1番6号)において、各都立病院や各都立療育施設から選出されたサークルの発表とともに、当センターで最優秀賞を獲得したコロナバスター ALL FOR ALLによるテーマ名「療育施設でのCOVID-19 感染防止対策～私たちは心をひとつに知恵を絞って立ち向かった～」の発表が行われる予定です。



【2023年クリスマスメニュー】

メインのツリーグラタンはグラタンを土台にし、クリスマスツリーをブロッコリーで型どり、赤パプリカ、黄パプリカ、人参、卵で飾り付けし、仕上げました。リースサラダは水菜でリースを作り、サツマ芋、ハムを星型でくりぬきトマトを散らしてデコレーションしました。スープは法蓮草、セロリ、芽キャベツ、人参、玉葱といった冬野菜をたっぷり入れ具沢山にしました。デザートはクリスマスらしくショートケーキに苺をトッピングしました。

〈クリスマス 常食〉



〈クリスマス ソフト食〉



【2024年お正月メニュー】

赤飯、伊達巻や昆布巻、かまぼこ、黒豆の盛り合わせ、松風焼、数の子、そして福島県会津地方の郷土料理「こゆず」(ホタテの貝柱で出汁をとる)お雑煮にし、練り切り、を添えてお正月らしさを出しました。食べやすいように柔らかい食材を選び提供させて頂きました。今後も皆様に喜んでいただけるような食事をお届けできるよう努めてまいります。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

<栄養科 一同>

〈お正月 常食〉



〈お正月 ソフト食〉



東大和療育センターホームページ

東大和療育センター

検索

そよ風 第111号

編集 院内報そよ風編集委員会
発行日 令和6年1月15日
発行 東京都立東大和療育センター
東京都東大和市桜が丘3-44-10
Tel 042-567-0222